



## 2021年1月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年3月3日  
東

上場会社名 株式会社タカショー 上場取引所  
 コード番号 7590 URL <https://takasho.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高岡 伸夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営管理本部副本部長 (氏名) 井上 淳 (TEL) 073(482)4128  
 定時株主総会開催予定日 2021年4月14日 配当支払開始予定日 2021年4月15日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年4月15日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年1月期の連結業績(2020年1月21日～2021年1月20日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年1月期	18,486	6.5	1,156	117.7	1,152	145.7	952	369.2
2020年1月期	17,357	△2.3	531	3.3	469	40.6	203	△40.0
(注) 包括利益	2021年1月期		966百万円(279.8%)		2020年1月期		254百万円(148.4%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率			
	円 銭	円 銭	%	%	%			
2021年1月期	65.36	65.32	10.6	6.0	6.3			
2020年1月期	13.93	—	2.4	2.5	3.1			
(参考) 持分法投資損益	2021年1月期		—百万円		2020年1月期		—百万円	

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産				
	百万円	百万円	%	円 銭				
2021年1月期	19,691	9,516	47.9	646.41				
2020年1月期	18,634	8,693	46.2	590.37				
(参考) 自己資本	2021年1月期		9,423百万円		2020年1月期		8,606百万円	

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年1月期	1,899	△438	△307	3,942
2020年1月期	987	△783	△606	2,790

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年1月期	—	0.00	—	10.00	10.00	145	71.8	1.7
2021年1月期	—	0.00	—	20.00	20.00	291	30.6	3.2
2022年1月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00		32.4	

## 3. 2022年1月期の連結業績予想(2021年1月21日～2022年1月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	19,680	6.5	1,195	3.3	1,190	3.3	900	△5.6	61.74

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無  
 ② ①以外の会計方針の変更： 無  
 ③ 会計上の見積りの変更： 無  
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年1月期	14,679,814株	2020年1月期	14,679,814株
② 期末自己株式数	2021年1月期	101,485株	2020年1月期	101,485株
③ 期中平均株式数	2021年1月期	14,578,329株	2020年1月期	14,578,329株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年1月期の個別業績（2020年1月21日～2021年1月20日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年1月期	14,612	2.5	463	70.9	564	277.0	388	502.4
2020年1月期	14,257	△3.6	271	△11.2	149	△45.7	64	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年1月期	26.67		26.65					
2020年1月期	4.43		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2021年1月期	14,018		5,148		36.7	353.01		
2020年1月期	13,342		4,924		36.9	337.70		

(参考) 自己資本 2021年1月期 5,146百万円 2020年1月期 4,923百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定されており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	18
(重要な後発事象) .....	18

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、社会経済活動が大きく制限された影響により、極めて厳しい状況で推移しました。また、2021年1月には2度目の緊急事態宣言が発出されるなど、経済の見通しは依然として、予断を許さない状況にあります。

当社グループを取り巻くガーデン・エクステリア業界におきましても新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け新設住宅着工戸数は2020年12月まで18カ月連続で前年より減少し、一部住宅設備機器の供給遅れから建物本体工事の遅延や例年開催される展示会やイベント等も中止を余儀なくされました。

このような環境下において、国内では、各工場の最適化や安定供給、生産性向上と工場の増床や設備増強による生産体制強化を図りました。海外では中国の工場が新型コロナウイルス感染症拡大により一時操業停止となったものの感染拡大防止対策の徹底により早々に操業を再開し、通常の生産体制に戻りました。

国内の売上高につきまして、プロユース部門では家と庭をつなぐ中間領域である「5th Room」（五番目の部屋）のコンセプトに基づく基軸商品の「オールガラスポーチ」とその周辺アイテムの売上拡大と新築外構工事におけるファサードエクステリアのデザイン性向上のための様々な顧客サポートを行ったことで、施工現場の停滞などの影響がありました。売上高は前連結会計年度と比べ1.2%の減少で抑えることができました。

ホームユース部門においては、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛に伴い、ガーデニングの需要が高まったことから、販売先である量販店での売上拡大やeコマースにおけるガーデニング用品の売上拡大により前連結会計年度と比べ18.2%増加しました。

海外の売上高につきましても、新型コロナウイルス感染症の影響によりガーデニングの需要が高まり、特にeコマースにおけるガーデニング用品の売上高が前連結会計年度と比べ28.2%増加と大幅に伸長しました。さらに、当社会社が運営するガーデン・エクステリア業界の情報に特化したWebプラットフォーム『GARDEN STORY（ガーデンストーリー）』は、ガーデニングシーズンの最盛期とコロナ禍の「STAY HOME」による影響が重なった2020年5月に過去最高PV・UU達成以降も、家庭菜園や季節の植物に関わる記事へのアクセスが勢いを持ったまま推移しました。特に検索流入においては対前年比平均900%以上を継続し、多くの方が植物に興味を持ち、“ガーデニングや家庭菜園とともにある暮らし”の定着が表れる結果となりました。このような状況を好機と捉え、当社グループにおきましては、DX（デジタルトランスフォーメーション）への取り組みを一気に加速させ、6月15日よりWebショールームを開設し、さらに、10月22日・23日に自社展示会「タカショーガーデン&エクステリアフェア2020」をリアルとオンラインを融合したハイブリッド型で開催し、今後の新しい生活様式における提案やVR・ARなどを使用した動画ソフトパッケージの提案を行い、営業活動の強化に努めております。

販売費及び一般管理費においては、営業活動の自粛に伴い営業スタイルの変化による営業経費の減少や販促費用の見直し等により販促・広告費が減少しました。今後は更に業務効率の改善を進め、Web受注やRPA、またIoTやICTなどの最先端のIT化を急速に進めることで大幅な経費削減に努めてまいります。また、営業利益においては、自社生産品の販売構成比の増加や生産性向上により原価率が低減したこともあり、前連結会計年度と比べ117.7%増加しました。

なお、有限会社タカショーヨーロッパ及び天津高秀国際工貿有限公司の清算手続きが決了したことから、特別利益に為替換算調整勘定取崩益74,729千円を計上しております。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は18,486,333千円（前年同期比6.5%増）、営業利益は1,156,902千円（前年同期比117.7%増）、経常利益は1,152,417千円（前年同期比145.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は952,894千円（前年同期比369.2%増）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,087,666千円増加し、12,187,525千円となりました。主な要因は、現金及び預金が3,942,313千円（前連結会計年度末に比べ1,152,166千円増）、受取手形及び売掛金が2,640,052千円（前連結会計年度末に比べ328,971千円増）、商品及び製品が2,826,455千円（前連結会計年度末に比べ453,411千円減）となったこと等によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて30,817千円減少し、7,503,866千円となりました。主な要因は、有形固定資産が5,556,327千円（前連結会計年度末に比べ127,211千円減）と無形固定資産が414,401千円（前連結会計年度末に比べ83,127千円減）となったこと等によるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1,056,849千円増加し、19,691,391千円となりました。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて458,723千円減少し、8,823,985千円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が3,001,688千円（前連結会計年度末に比べ128,791千円増）、1年以内返済予定長期借入金が356,130千円（前連結会計年度末に比べ190,181千円増）、未払消費税が220,915千円（前連結会計年度末に比べ118,862千円増）、短期借入金が3,943,756千円（前連結会計年度末に比べ948,197千円減）となったこと等によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて692,687千円増加し、1,350,609千円となりました。主な要因は、新型コロナウイルス感染症が業績に与える影響を考慮し、資金の増強を図ったことにより長期借入金が771,899千円（前連結会計年度末に比べ709,282千円増）等によるものです。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて233,964千円増加し、10,174,595千円となりました。

### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて822,885千円増加し、9,516,795千円となりました。主な要因は、利益剰余金が5,427,501千円（前連結会計年度に比べ807,110千円増）となったこと等によるものです。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ1,152,166千円増加し、当連結会計年度末には3,942,313千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの原因は、次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の営業活動の結果、増加した資金は1,899,580千円（前年同期は987,475千円の増加）となりました。主な要因は、税金等調整前当期純利益が1,218,036千円（前年同期は467,933千円）、売上債権の増減額が320,222千円の減少（前年同期は298,256千円の増加）となったこと等によるものです。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の投資活動の結果、減少した資金は438,181千円（前年同期は783,794千円の減少）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出が268,428千円（前年同期は621,033千円の支出）、無形固定資産の取得による支出が170,199千円（前年同期は85,419千円の支出）となったこと等によるものです。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の財務活動の結果、減少した資金は307,049千円（前年同期は606,279千円の減少）となりました。主な要因は、新型コロナウイルス感染症が業績に与える影響を考慮し、資金の増強を図ったことによる長期借入れによる純収入899,464千円（前年同期は213,612千円の純支出）と短期借入による純支出941,096千円（前年同期は151,961千円の純支出）によるものです。

#### (4) 今後の見通し

次期(2022年1月期)の見通しにつきましては、引き続き新型コロナウイルス感染症に対する有効的な手段が確立されておらず、経済活動への影響が長期化することが懸念されます。また、海外の一部の国々においてワクチン接種が開始されており明るい兆しが見られるものの、ワクチンの効果が顕在化しない場合は経済活動が長期停滞する恐れがあり、当社グループを取り巻く経営環境は予断を許さない状況が続くものと予想されます。

このような経営環境のもと、次期におきましても当社が提唱する庭は家での暮らしにおける5番目の部屋である「5th ROOM」(フィフスルーム)に基づき、庭でのライフスタイルメーカーとしてのブランド力の向上を図ってまいります。また、国内においては、withコロナを背景にWebならびにVRによるショールームやAR(拡張現実)アプリ「メタバガーデン」による施工後のイメージを提案するなど、デジタル化を推進するとともに、リアルとネットを融合したハイブリット型ショールームの展開を推進して参ります。さらに、庭空間におけるガーデンシミュレーションアプリや庭空間パッケージ動画等の制作を中心としたソフト工場の稼働を目的にタカショーGLD-LAB. Soft-Factory鳥取(2021年4月開設予定)の新設ならびにタカショーガーデンライフデザインラボ フィリピン株式会社(2021年8月設立予定)の設立により販売活動の強化を図ってまいります。販売費及び一般管理費においては、業務効率を改善し生産性向上の強化を図るため、AI・AI-OCRならびにRPA(ロボティクス・プロセス・オートメーション)の運用推進により経費削減に努めてまいります。また、グローバル展開においては、欧州地域を中心に自社生産品における新商品の導入を推進するとともに、当社主力商品である「エバーアートウッド」を中心としたエクステリア商品の拡販を目的とし、同商品の販売が順調に推移している韓国、豪州および欧州地域に対する売上拡大に努めてまいります。さらに、中国の製造部門において、工場増築により生産量を拡大し、欧州、アジア、オセアニア、北米地域への販売活動の強化を図ることから、2022年1月期の連結業績は売上高19,680百万円、営業利益1,195百万円、経常利益1,190百万円、親会社株主に帰属する当期純利益900百万円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月20日)	当連結会計年度 (2021年1月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,790,147	3,942,313
受取手形及び売掛金	2,299,288	2,640,052
電子記録債権	569,034	572,227
商品及び製品	3,279,866	2,826,455
仕掛品	348,284	358,300
原材料及び貯蔵品	1,149,916	1,169,705
短期貸付金	128,338	103,765
その他	659,911	695,001
貸倒引当金	△124,930	△120,296
流動資産合計	11,099,858	12,187,525
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,831,914	6,330,646
減価償却累計額	△2,653,161	△2,871,539
建物及び構築物(純額)	3,178,752	3,459,106
機械装置及び運搬具	1,099,611	1,126,532
減価償却累計額	△655,271	△752,028
機械装置及び運搬具(純額)	444,340	374,504
工具、器具及び備品	803,904	833,739
減価償却累計額	△651,345	△700,131
工具、器具及び備品(純額)	152,558	133,607
土地	1,011,042	1,008,968
リース資産	691,209	798,282
減価償却累計額	△262,615	△365,090
リース資産(純額)	428,594	433,191
建設仮勘定	468,250	146,948
有形固定資産合計	5,683,539	5,556,327
無形固定資産		
のれん	119	13,363
ソフトウェア	201,417	177,782
ソフトウェア仮勘定	12,795	77,214
その他	116,941	146,040
無形固定資産合計	331,273	414,401
投資その他の資産		
投資有価証券	218,790	260,149
出資金	49,224	44,372
長期貸付金	179,799	178,164
退職給付に係る資産	231,328	260,721
繰延税金資産	275,219	226,180
その他	588,151	584,088
貸倒引当金	△22,643	△20,540
投資その他の資産合計	1,519,870	1,533,137
固定資産合計	7,534,683	7,503,866
資産合計	18,634,541	19,691,391

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月20日)	当連結会計年度 (2021年1月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,872,897	3,001,688
短期借入金	4,891,954	3,943,756
1年内返済予定の長期借入金	165,948	356,130
リース債務	109,812	116,673
未払金	660,920	697,316
未払費用	114,434	141,465
未払法人税等	163,689	114,397
未払消費税等	102,052	220,915
賞与引当金	66,129	70,461
その他	134,870	161,180
流動負債合計	9,282,709	8,823,985
固定負債		
長期借入金	62,616	771,899
リース債務	374,999	357,987
退職給付に係る負債	6,478	7,440
資産除去債務	208,814	211,219
その他	5,012	2,062
固定負債合計	657,921	1,350,609
負債合計	9,940,630	10,174,595
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,820,860	1,820,860
資本剰余金	1,862,014	1,862,014
利益剰余金	4,620,390	5,427,501
自己株式	△26,529	△26,529
株主資本合計	8,276,736	9,083,847
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	96,690	125,236
繰延ヘッジ損益	40,516	△7,936
為替換算調整勘定	98,901	142,835
退職給付に係る調整累計額	93,692	79,549
その他の包括利益累計額合計	329,800	339,686
新株予約権	1,324	2,341
非支配株主持分	86,049	90,921
純資産合計	8,693,910	9,516,795
負債純資産合計	18,634,541	19,691,391



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月21日 至 2020年1月20日)	当連結会計年度 (自 2020年1月21日 至 2021年1月20日)
売上高	17,357,945	18,486,333
売上原価	9,810,859	10,226,419
売上総利益	7,547,085	8,259,914
販売費及び一般管理費	7,015,598	7,103,011
営業利益	531,487	1,156,902
営業外収益		
受取利息	10,557	7,469
受取配当金	4,004	4,547
受取手数料	42,723	41,925
受取保険金	7,079	8,750
助成金収入	-	14,971
その他	48,089	53,116
営業外収益合計	112,455	130,782
営業外費用		
支払利息	88,449	79,178
売上割引	36,003	33,790
為替差損	21,343	4,834
コミットメントフィー	10,664	5,453
その他	18,378	12,010
営業外費用合計	174,839	135,267
経常利益	469,104	1,152,417
特別利益		
固定資産売却益	2,661	4,335
負ののれん発生益	3,236	-
為替換算調整勘定取崩益	-	74,729
特別利益合計	5,898	79,064
特別損失		
固定資産売却損	175	-
固定資産除却損	3,917	1,301
投資有価証券評価損	-	4,852
減損損失	2,975	7,292
特別損失合計	7,069	13,445
税金等調整前当期純利益	467,933	1,218,036
法人税、住民税及び事業税	225,287	197,453
法人税等調整額	37,881	63,950
法人税等合計	263,168	261,403
当期純利益	204,764	956,632
非支配株主に帰属する当期純利益	1,667	3,738
親会社株主に帰属する当期純利益	203,097	952,894

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月21日 至 2020年1月20日)	当連結会計年度 (自 2020年1月21日 至 2021年1月20日)
当期純利益	204,764	956,632
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40,877	28,546
繰延ヘッジ損益	58,972	△48,452
為替換算調整勘定	△150,711	44,049
退職給付に係る調整額	100,625	△14,142
その他の包括利益合計	49,763	10,000
包括利益	254,528	966,633
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	255,443	962,780
非支配株主に係る包括利益	△915	3,853

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年1月21日 至 2020年1月20日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,820,860	1,862,014	4,563,076	△26,529	8,219,422
当期変動額					
新株の発行	-	-	-	-	-
剰余金の配当	-	-	△145,783	-	△145,783
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	203,097	-	203,097
自己株式の取得	-	-	-	-	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	-	57,314	-	57,314
当期末残高	1,820,860	1,862,014	4,620,390	△26,529	8,276,736

	その他の包括利益累計額				
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計
当期首残高	55,812	△18,456	247,030	△6,933	277,454
当期変動額					
新株の発行	-	-	-	-	-
剰余金の配当	-	-	-	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	-	-	-
自己株式の取得	-	-	-	-	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	40,877	58,972	△148,128	100,625	52,346
当期変動額合計	40,877	58,972	△148,128	100,625	52,346
当期末残高	96,690	40,516	98,901	93,692	329,800

	新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	165	84,677	8,581,718
当期変動額			
新株の発行	-	-	-
剰余金の配当	-	-	△145,783
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	203,097
自己株式の取得	-	-	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,159	1,371	54,877
当期変動額合計	1,159	1,371	112,191
当期末残高	1,324	86,049	8,693,910

当連結会計年度(自 2020年1月21日 至 2021年1月20日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,820,860	1,862,014	4,620,390	△26,529	8,276,736
当期変動額					
新株の発行	-	-	-	-	-
剰余金の配当	-	-	△145,783	-	△145,783
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	952,894	-	952,894
自己株式の取得	-	-	-	-	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	-	807,110	-	807,110
当期末残高	1,820,860	1,862,014	5,427,501	△26,529	9,083,847

	その他の包括利益累計額				
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計
当期首残高	96,690	40,516	98,901	93,692	329,800
当期変動額					
新株の発行	-	-	-	-	-
剰余金の配当	-	-	-	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	-	-	-
自己株式の取得	-	-	-	-	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	28,546	△48,452	43,934	△14,142	9,885
当期変動額合計	28,546	△48,452	43,934	△14,142	9,885
当期末残高	125,236	△7,936	142,835	79,549	339,686

	新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	1,324	86,049	8,693,910
当期変動額			
新株の発行	-	-	-
剰余金の配当	-	-	△145,783
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	952,894
自己株式の取得	-	-	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,016	4,872	15,774
当期変動額合計	1,016	4,872	822,885
当期末残高	2,341	90,921	9,516,795

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月21日 至 2020年1月20日)	当連結会計年度 (自 2020年1月21日 至 2021年1月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	467,933	1,218,036
減価償却費	565,887	613,249
のれん償却額	479	3,119
負ののれん発生益	△3,236	-
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,752	△6,774
賞与引当金の増減額 (△は減少)	728	4,332
受取利息及び受取配当金	△14,562	△12,017
支払利息	88,449	79,178
為替差損益 (△は益)	△10,480	△6
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	4,852
固定資産除却損	3,917	1,301
減損損失	2,975	7,292
固定資産売却損益 (△は益)	△2,486	△4,335
為替換算調整勘定取崩益	-	△74,729
売上債権の増減額 (△は増加)	298,256	△320,222
たな卸資産の増減額 (△は増加)	72,964	416,835
その他の資産の増減額 (△は増加)	87,330	△144,835
仕入債務の増減額 (△は減少)	△234,010	210,715
その他の負債の増減額 (△は減少)	△143,119	86,195
未払消費税等の増減額 (△は減少)	1,025	118,862
その他	12,252	12,160
小計	1,189,553	2,213,210
法人税等の支払額	△127,300	△246,744
利息及び配当金の受取額	14,562	12,017
利息の支払額	△89,340	△78,902
営業活動によるキャッシュ・フロー	987,475	1,899,580
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△621,033	△268,428
有形固定資産の売却による収入	3,761	6,409
無形固定資産の取得による支出	△85,419	△170,199
投資有価証券の取得による支出	△306	△307
子会社株式の取得による支出	6,496	-
短期貸付けによる支出	△18,000	-
短期貸付金の回収による収入	-	18,000
長期貸付けによる支出	-	△2,500
長期貸付金の回収による収入	851	4,134
その他	△70,144	△25,289
投資活動によるキャッシュ・フロー	△783,794	△438,181

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月21日 至 2020年1月20日)	当連結会計年度 (自 2020年1月21日 至 2021年1月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	21,148,147	18,347,138
短期借入金の返済による支出	△21,300,108	△19,288,234
長期借入れによる収入	-	1,050,000
長期借入金の返済による支出	△213,612	△150,536
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△94,921	△119,633
配当金の支払額	△145,783	△145,783
財務活動によるキャッシュ・フロー	△606,279	△307,049
現金及び現金同等物に係る換算差額	△18,247	△2,183
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△420,846	1,152,166
現金及び現金同等物の期首残高	3,210,993	2,790,147
現金及び現金同等物の期末残高	2,790,147	3,942,313

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

### 1 報告セグメントの概要

報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主に庭園資材の製造および販売を行っており、国内においては当社が、海外においては現地法人が、それぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う商品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、製造・販売体制を基礎とした地域別セグメントから構成されており、「日本」「欧州」「中国」「韓国」「米国」の5つを報告セグメントとしております。

### 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

セグメント間の内部収益および振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2019年1月21日 至 2020年1月20日)

(単位:千円)

	報告セグメント					
	日本	欧州	中国	韓国	米国	計
売上高						
外部顧客への売上高	15,495,406	438,560	894,360	120,861	268,923	17,218,112
セグメント間の内部売上高 又は振替高	299,831	64,644	2,018,686	—	5,712	2,388,874
計	15,795,237	503,204	2,913,046	120,861	274,636	19,606,987
セグメント利益又は損失(△)	569,088	△329,349	188,414	△22,340	△14,266	391,546
セグメント資産	16,538,746	1,100,526	3,823,719	130,865	415,064	22,008,922
その他の項目						
減価償却費	355,885	37,871	153,369	198	18,507	565,831
のれんの償却額	479	—	—	—	—	479
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	547,555	298,256	305,488	555	43,251	1,195,107

	その他 (注1)	計	調整額 (注2)	連結財務諸表 計上額 (注3)
売上高				
外部顧客への売上高	139,832	17,357,945	—	17,357,945
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	2,388,874	△2,388,874	—
計	139,832	19,746,820	△2,388,874	17,357,945
セグメント利益又は損失(△)	△11,562	379,984	151,503	531,487
セグメント資産	136,248	22,145,171	△3,510,629	18,634,541
その他の項目				
減価償却費	56	565,887	—	565,887
のれんの償却額	—	479	—	479
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	3,214	1,198,321	—	1,198,321

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアおよびインドの現地法人等の事業活動を含んでいます。

2 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引消去136,324千円、たな卸資産の調整額15,928千円、のれんの償却額△479千円および貸倒引当金の調整額△270千円が含まれております。

(2) セグメント資産の調整額には、セグメント間の債権および投資に対する相殺消去△3,493,752千円、たな卸資産の調整額△259,859千円、のれんの調整額△48,060千円および貸倒引当金の調整額291,043千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



当連結会計年度(自 2020年1月21日 至 2021年1月20日)

(単位:千円)

	報告セグメント					
	日本	欧州	中国	韓国	米国	計
売上高						
外部顧客への売上高	15,857,181	753,973	1,058,368	154,513	402,819	18,226,855
セグメント間の内部売上高 又は振替高	491,423	0	2,199,284	—	10,495	2,701,203
計	16,348,604	753,973	3,257,652	154,513	413,315	20,928,059
セグメント利益又は損失(△)	809,893	△99,428	314,494	△9,078	23,382	1,039,264
セグメント資産	17,429,553	971,858	3,850,190	170,912	457,674	22,880,190
その他の項目						
減価償却費	385,022	41,775	168,380	583	17,445	613,208
のれんの償却額	3,119	—	—	—	—	3,119
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	485,312	2,607	473,913	1,878	656	964,369

	その他 (注1)	計	調整額 (注2)	連結財務諸表 計上額 (注3)
売上高				
外部顧客への売上高	259,478	18,486,333	—	18,486,333
セグメント間の内部売上高 又は振替高	300	2,701,504	△2,701,504	—
計	259,778	21,187,837	△2,701,504	18,486,333
セグメント利益又は損失(△)	17,478	1,056,742	100,160	1,156,902
セグメント資産	171,106	23,051,296	△3,359,905	19,691,391
その他の項目				
減価償却費	41	613,249	—	613,249
のれんの償却額	—	3,119	—	3,119
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	2,591	966,961	—	966,961

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアおよびインドの現地法人等の事業活動を含んでいます。

2 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引消去56,492千円、たな卸資産の調整額44,357千円、のれんの償却額△119千円および貸倒引当金の調整額△568千円が含まれております。

(2) セグメント資産の調整額には、セグメント間の債権および投資に対する相殺消去△3,249,039千円、たな卸資産の調整額△211,436千円、のれんの調整額△48,060千円および貸倒引当金の調整額148,631千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年1月21日 至 2020年1月20日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	人工竹木フェンス 関連商品	ガーデン 用品	照明機器	その他	合計
外部顧客への売上高	7,228,897	4,426,504	3,242,043	2,460,500	17,357,945

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：千円)

日本	欧州	その他	合計
16,004,711	439,117	914,117	17,357,945

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎として、国または地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	中国	その他	合計
3,735,861	1,643,364	304,312	5,683,539

## 3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2020年1月21日 至 2021年1月20日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	人工竹木フェンス 関連商品	ガーデン 用品	照明機器	その他	合計
外部顧客への売上高	6,991,779	6,005,986	3,044,221	2,444,347	18,486,333

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：千円)

日本	欧州	その他	合計
16,184,612	757,693	1,544,027	18,486,333

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎として、国または地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	中国	その他	合計
3,783,806	1,531,155	241,364	5,556,327

## 3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年1月21日 至 2020年1月20日)

(単位:千円)

	報告セグメント						その他	全社・消去	合計
	日本	欧州	中国	韓国	米国	計			
減損損失	—	—	—	—	—	—	2,975	—	2,975

(注) 「その他」の金額は、オーストラリアの現地法人に係るものであります。

当連結会計年度(自 2020年1月21日 至 2021年1月20日)

(単位:千円)

	報告セグメント						その他	全社・消去	合計
	日本	欧州	中国	韓国	米国	計			
減損損失	—	—	—	—	—	—	7,292	—	7,292

(注) 「その他」の金額は、オーストラリアの現地法人に係るものであります。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年1月21日 至 2020年1月20日)

(単位:千円)

	報告セグメント						その他	全社・消去	合計
	日本	欧州	中国	韓国	米国	計			
当期末残高	119	—	—	—	—	119	—	—	119

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の記載を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年1月21日 至 2021年1月20日)

(単位:千円)

	報告セグメント						その他	全社・消去	合計
	日本	欧州	中国	韓国	米国	計			
当期末残高	13,363	—	—	—	—	13,363	—	—	13,363

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の記載を開示しているため、記載を省略しております。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2019年1月21日 至 2020年1月20日)	当連結会計年度 (自 2020年1月21日 至 2021年1月20日)
1株当たり純資産額	590円37銭	646円41銭
1株当たり当期純利益	13円93銭	65円36銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	—	65円32銭

(注) 1 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎

項目	前連結会計年度 (自 2019年1月21日 至 2020年1月20日)	当連結会計年度 (自 2020年1月21日 至 2021年1月20日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	203,097	952,894
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	203,097	952,894
普通株式の期中平均株式数(株)	14,578,329	14,578,329
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	9,279
(うち新株予約権(株))	—	(9,279)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式 の概要	2018年10月22日開催の取 締役会決議による新株予 約権 普通株式 85,000株	—

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。